

留学先国名 **ドイツ**

留学先学校名 : **University of Konstanz**

留学期間 : **平成 28 年 3 月 1 日 ~ 平成 29 年 2 月 28 日**

今回、私が留学先の場所として選んだのはドイツ連邦の南端に位置するコンスタンツという町です。コンスタンツという町自体は非常に小さくドイツ人たちの間では避暑地としてかなり有名です。実際に夏は、川沿いにはたくさんの方が、リラックスして本当に過ごしやすい町だと思います。また、ドイツでも有数の治安を誇る町としてもとても有名ですが、実際に、非常に安全で、深夜に町を出歩いても安全な町でした。コンスタンツは大学の町なので、勉強も没頭できる環境が整っていると思います。例えば図書館が二十四時間空いているので遅くまで勉強ができる環境にあります。とはいえ、コンスタンツは勉強するだけの場所という訳でもなく、秋と冬には、オクトーバーフェストとクリスマスマーケット、春先には、イースター祭りといったユニークな行事もたくさんあり、本当に良い町だと思います。

さて、今回の留学で私が得たことは主に語学力、現地での適応能力やコミュニケーション能力が挙げられます。まず、語学力について、留学が始まった当初自分の語学力特にリスニング力が本当に、不足していると実感し、まずひたすら、英語の映画などを観て、聞き取れないところがあれば停止して巻き戻して、聞き取れるまで聞いていました。この訓練を三か月ほど行いましたが、それほど手ごたえが感じられず、少し、違うアプローチで語学能力の向上を図りました。その方法とは、ほかの留学生とできるだけ話して、実際にコミュニケーションをとるという方法です。それを二か月帰国まで続けた結果、ネイティブスピーカーとの会話も差し支えなくできるようになりました。リスニングやスピーキングだけでなく、リーディングやライティングも今回の留学で向上することができました。リーディングやライティングについては、主に授業を通して向上できたと思います。というのも、授業では、毎週大量のリーディングの課題を課され、また、学期末には、20 ページ程のレポートを課されその課題の過程でどのように論文を構成したらいいのか、どのような構成で段落を構成すべきなのかを学びました。また、私が学んだのは英語だけではなく、ドイツ語もこの留学中に、学びました。ほぼゼロからのスタートだったので、まだまだ学習は必要ですが、現地の生活には必要最低限必要な分は習得できたと思います。この語学習得の過程を通して、自分は一つのやり方にこだわるのではなくより良い方法へと改善することのできる柔軟性を持っていると感じました。

二つ目に述べる私がこの留学中に得たことは、現地での適応能力です。私がドイツにきて以降一度もホームシックにならなかったことは自分自身もとても驚きました。本当に全くホームシックにはならず現地でできた友達や、日本の友達にもとても驚かれました。一つの原因として考えられることは、私の考えとして、ホームシックになる暇があるなら、何かに熱中しているほうがまだというメンタリティを持っていたからだと思います。一番つらかった時期である、ただ映画を見てリスニング力を高めた時も自分に対して悔しいと思う一方ホームシックには全くならなかったと思います。ただ自分のすることを黙々とやっていました。また、現地の気候などといった環境面でも大きな影響を受けず無事に一年間過ごすことができたと思います。また、多

文化に対する適応能力も私はあるのだと実感しました。例えば、イスラム教徒の友達などご飯を食べる時もその友達の食べることができるものを考慮して店選びをしたり、キリスト教徒の友達が食事前の祈りをするとき、待っていたり、友達が作ってくれた多国籍料理を全くまずいと感ぜずに食べたりなど、文化的な適応能力もあることがはっきりしました。

最後に、コミュニケーション能力について、私が今回の留学で、最も成長したと感じる能力がコミュニケーション能力だと思います。というのも出発前や留学が始まってすぐの時点から仲良くしている友達から出会った時はとてもシャイだったけど今は全然違うといわれたり、また、二学期目から出会った友達から、日本人とは思えないほどオープンな性格をしているといわれたり、本当に人が変わったみたいと言われました。そして、初対面の外国人と仲良くなる方法や、一度知り合った友達とさらに仲良くなる方法などいろいろとスキルを、実生活を通して学べたと思います。以上が、私が主にこの留学を通して学べたことと思います。今回の留学を通して得たことを自分の将来の自分のキャリアにつなげていきたいと思っています。具体的には、外国人のクライアントを相手にビジネスを行いたいと考えています。特に私の派遣国のドイツとビジネスをしたいと考えています。そのために現在の就職活動で、商社やドイツ企業の日本法人を軸として就職活動を行っております。しかし、ゴールがドイツ企業の日本法人で働くのではなく、ドイツ現地での採用、現地での居住を最終ゴールとしています。そのゴールを見越して、現在の就職活動を行っているのです。今回の留学で私の漠然とした将来がかなり具体化したように思います。将来の夢を具体化するという点で本当に大きな意味のある留学だったと思います。ですので、これから留学をする人または、考えている人はぜひ留学に挑戦してほしいと思います。